

クラウドでニーズを捉えた俊敏なサービス開発

情報IやプログラミングのICT教材を開発・販売している、ライフイズテック株式会社(東京都港区)と株式会社SPRIX(東京都渋谷区)は、Amazon Web Services(AWS)を活用しているという共通点を持つ。ライフイズテックCTOの奥苑佑治氏とSPRIXの取締役部長の飯坂正樹氏に、それぞれのサービスの特徴を紹介してもらいながら、ニーズを捉えたサービス開発をどのように行っているか語ってもらった。

2社が学習塾に提供している情報系ICT教材

まずは簡単に、それぞれの企業の紹介をお願いします。

奥苑 2010年に創業したライフイズテックは当初からプログラミング情報教育に携わるなか、2020年にプログラミングが必修化されてからは、学校教育にも取り組んでいます。

奥苑 高校生が情報Iを自立的に学習できるような「情報AIDドリル」という教材を販売しています。

また、生徒保護者の情報や授業の進捗状況など、塾向けの管理システム「フォレストデータベース」も販売しています。

飯坂 新しい学びの流行りなどはあまり意識せず、具現化したニーズに真正面からクイックに反応することを心がけています。実際、QUREOは森塾の保護者・生徒からのご要望を受けてスタートしました。

情報Iは今年が導入初年度のため現役大学生も習ったことがなく、教え手が足りていません。そうしたなか、自立的に学べる情報AIDドリルは大変好評をいただいでいて、すでに3900教室で採用いただいています。

飯坂 スプリックスでは小学生から高校生までを対象としたプログラミング教室「QUREO」をサイバーエージェント Kidsと共同運営していて、こちらは学習塾にも提供しています。

また、生徒保護者の情報や授業の進捗状況など、塾向けの管理システム「フォレストデータベース」も販売しています。

奥苑 情報AIDドリルを開発するにあたっては仮説を立てて試作し、改善点があればすぐ修正するというPDCAを回して品質を高めていきました。

しかしながら、先生方は教えられなくなると、自分の価値が失われたと捉えてしまう可能性もあるので、先生方



—— 学習塾向けに展開しておられるサービスについて

また、大学入試センターからは共通テスト試作問題が出されていたため、AIを使って分析と作問を実施。そ

—— 今後の展望をお聞かせください。

—— 教材開発で苦労された点などをお聞かせください。



ライフイズテックCTO 奥苑佑治氏

成果を可視化できるように、「プログラミング能力検定」という検定も開発・運用しています。そうしたことで保護者にも先生にも「子供たちのためになるなら」と納得してもらいやすくなりました。

また、QUREOの教室ではタブレットで黙々と勉強をしますが、先生と仲間がいるからこそ頑張れる部分が大いです。つまり「場が必要」ということです。

また、海外でもプログラミング教育は盛り上がってきていますので、AWSの力を借りながら海外でもどんどん広めていきたいです。

の関わり方をどう設計するか、は苦労した点です。

奥苑 ホントそうですね。教え手がいないからこそ「自立できる教材」を突き詰める必要があるなか、先生とAIの役割分担をどうするのか。今はそれを見極める分岐点に差しかかっていると感じます。

学びにはリアルな場と人間の介在が不可欠

—— 先生方を納得させるために、どのようなことを意識されましたか。

飯坂 プログラミングは学習成果が見えないから不安という先生の気持ちはよくわかりますので、子供たちの学習

—— 今後も学習塾のニーズに応えるサービス開発を実施

また奥苑さんも言われたように親身になって対応してもらえれば、コストはできるだけ抑える提案をしていただけるなど、その誠実な姿勢には大変共感しています。



また奥苑さんも言われたように親身になって対応してもらえれば、コストはできるだけ抑える提案をしていただけるなど、その誠実な姿勢には大変共感しています。

aws
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
問合せ先 : <https://aws.amazon.com/jp/contact-us/>
WEB : <https://aws.amazon.com/jp/>

SPRIX
株式会社スプリックス
TEL : 03-5927-1681
eMail : info@sprix.jp
WEB:<https://sprix.inc>

Life is Tech! for 学習塾 情報AIドリル
ライフイズテック株式会社
TEL : 03-5877-4879
eMail : juku@lifeitech.co.jp
WEB:<https://juku.lifeitech-lesson.jp/>